

〔国際会議発表〕

発表研究者	北海道大学 情報科学研究科 博士後期課程 ジョルダン・アルノ	2042105
参加会議	iCAST (International Conference on Awareness Science & Technology)	
出張期間	2014年10月27日～11月2日	
開催場所	パリ フランス	
発表論文	A Framework for Multilingual Real-time Spoken Dialogue Agents リアルタイム多言語対話システムの枠組み	

概要：

北海道大学の博士課程に在籍して、対話システムに関する研究を行っている。これまでに様々なシステムを開発して、新たな手法を提案した。今回、iCAST 2014に参加して、新たな新規性の高い多言語を扱える対話システムを提案した。しかしながら、本システムはまだ未完成であるため、システムの基礎的な仕組みを発表することにより、様々な研究を行っている研究者から、意見やアドバイスをもらうことができた。

また、本会議のテーマは環境を意識できるシステムであったため、対話システムにも応用可能な手法を発見することができた。精度の高い対話システムを開発するためには、ユーザの入力文のみではなく、ユーザがいる環境を意識する必要がある。したがって、音声処理や画像処理などの手法が必要となると思われる。本会議では、その分野の発表が多様性に富んでいた。

さらに、発表後コンテキストの重要性に関する質問を受けたことから着想を得て、対話の文脈をより精確に扱えるシステムを今後提案する予定である。また、ロボットを開発している研究者もいて、共通研究の可能性もあるかと思われた。

また、フランス人としてフランスで開催される国際会議に参加して、日本の研究環境について話すという経験は、自分の将来の方向性を考えるよい機会になった。そして、国際会議という場において英語で発表することで、英語力が鍛えられた。

全体的に発言しやすい雰囲気での会議であったため、いろいろな人と、今後の研究に役立つような会話ができた。また、合間の時間を利用したパリ観光では、ルーヴル美術館など世界遺産を訪れ、非常に有意義な体験となった。